

虎林図「コーリンス」

幅広いジャンルと 活発なライブ活動

部長
工学部光応用工学科3年
新子 卓 あたらし すぐる

虎林図はいくつかのバンドの集合体サークルです。その歴史を知る人は今はいないそうですが、新子さんが聞いた話によると、20年以上の歴史があるとのこと。

部員数は20名ほどで、それぞれ気の合うもの同士がバンドを組んでいます。中には掛け持ちをする人もいて、その数は12〜13。ジャンルもロックやフュージョン、コンピュータミュージックと幅広い内容です。活動は基本的にバンド単位で行っていますが、学祭などのライブイベントの時には、みんなに声をかけてミーティングをしたりします。

年間のスケジュールは、4月に新入生歓迎のライブを学生会館の中で。5月に五月(さつき)祭でのライブ。また同じく5月は常三島キャンパスのもう一つの軽音サークル「F.V.T.」や、蔵本キャンパスの軽音楽系のグループも参加して、文理大学、四国大学合同で「グループサーキット」ライブを文理大学で。7月

には徳大の軽音楽系サークルが合同で七夕ライブを常三島体育館音楽ホールで開催します。

8月は毎年、香川県の小豆島の合宿。ここで各希望の楽器のパートごとにくじ引きしてバンドを結成。特に新入部員にとっては、自分が気の合うバンドや仲間を選ぶ機会となります。

9月にも二度「グループサーキット」があります。このときは天気が良ければ野外で行います。11月は大学祭。12月には外部のライブハウスを借りて定期演奏会を行います。また役員の交代もあり、新しい年に向けての出発となります。あとは2月か3月に卒業生追い出しライブがあつて二年が終わります。

練習は水木金に常三島体育館の音楽ホールで、各バンドが交代で行っています。だいたい夕方からだと誰かが練習しており、見学や入部の希望は気軽に声をかけてほしいとのこと。

